

# まめ★パ千写真館 企画展へようこそ



何十年も前の貴重な資料です。



関連図書を読めるコーナー



郷土の先人を紹介します。

今号の「この人に聞きたい」の中で触れた「企画展」は、図書館4階展示コーナーで随時開催されています。どうぞお気軽にお立ち寄りください♪

## 編集後記

特集「もう一度読みたい、国語の教科書」に、懐かしい作品は見つけられたでしょうか。ここでは、本特集企画アンケートに少数意見として寄せられた作品を、コメントとともにいくつかご紹介します。いずれも、図書館で読むことのできる作品です。

このほか、お探しの作品がありましたら、お気軽にスタッフまでお尋ねください☆

『てぶくろをかいに』新美南吉/作(きつねの親子の心温まるふれあい忘れられません) 『陰翳(いんえい)礼讃』谷崎潤一郎/著(なぜか「厠」について書かれた文章が印象に残っています) 『やまなし』宮沢賢治/作(声に出して読むと面白かったのを覚えている) 『ためぎの糸車』岸なみ/原作(読んだ後、楽しい気分になります) 『ちいちゃんのかげおくり』あまんきみこ/作(当時は悲しすぎてショックな記憶がありますが、今はもう一度読んでみたいです) 『赤い繭』安部公房/著(シュールな結末ではあるものの、そこに描かれる孤独感や疎外感は、思春期に誰もが経験するもののように思う)